

人権教育だより 卒業式直前号

令和7年(2025年)2月20日

鹿本農業高等学校

人権教育主任 野尻 貴輝

～言語環境を整え、1人ひとりが輝く学校づくり～

いよいよ卒業が目前に迫って参りましたが、今の気持ちはいかがでしょうか。3年間で長く感じた人も、短く感じた人もいることだと思います。3年間、さまざまな人権課題について差別を自分事として捉えられるように工夫しながら学んできました。今後、社会に出るにあたり、本校での学びを生かし、「なかま」を大切に、よりよい人生をいきていってください。3学期の概要と生徒感想(抜粋)を紹介します。

【1月】3年生「ハラスメント」・・・動画を見ながらハラスメントについて学び、また日ごろの自分や周りの言動を振り返り、対処法などを考えました。

- ・私は後先考えずに発言してしまい、人を傷つけてしまいました。それから今も後悔しています。今回の話によりその知識が深まりました。今後、そのようなことがないように心がけていきたいです。
- ・もしハラスメントにあってしまった時のために、自分を守るためにももっと学んでいきたい。
- ・ハラスメントは被害者になるだけでなく加害者にもなるのでしっかり学ぼうと思いました。
- ・人によって感じ方や受け取り方は違うので、よく考えていけるようにしていこうと思いました。
- ・これから先、色々な人に会うけど、1番信頼できる人を作って、報連相を大切にしていきたいです。
- ・ハラスメントをしない、まけないでこれから生きていきたいです。

【ワークシートの集計より】

【自分が傷ついた時】

- 1位 相談する
- 2位 離れる
- 3位 忘れる 切り替える

【周りの人が傷ついた時】

- 1位 声をかける
- 2位 相談にのる
- 3位 そっとする

【周りの人が傷つけた時】

- 1位 注意する
- 2位 話を聞く
- 3位 上司に相談

人権コラム「さまざまな角度から物事を見よう」

現在のガザ地区の状況について学ぶ機会がありました。第2次世界大戦後にヨーロッパにいるユダヤ系の難民のために建国されたイスラエルが、もともとその土地にいたパレスチナ人を迫害し続けていた歴史を学びました。また、ジェノサイドは大量虐殺の面だけ強調されていますが、元々は文化の破壊という点も盛り込まれており、現在ガザ地区では4000年の歴史を誇っていたモスクなど壊され、パレスチナ人の文化そのものもなかったことにされようとしているそうです。現在飢餓で苦しんでおり、食料が手に入らないために餓死していく子どもなどととても悲惨な現状を再確認し、私たちに何ができるのだろうと考えました。それは、1人でも多くの人にこうした事実を伝えていくことでした。ハマスの行動を肯定するわけではありませんが、新聞やテレビでは、一面的な見方しか放送しないこともあります。様々な角度から物事を見ていくことが大切だと思いました。

○「令和6年度(2024年度)人権メッセージ」入賞作品紹介

夏休み募集しました。今年も多くの素敵な作品ありがとうございました。約3000点の応募の中から本校2年食品科学科の生徒の作品が佳作に入賞しました。おめでとうございます。

「ありがとう、君の一言が私を強くしてくれる
ありがとう、君の一言が私をいかしてくれる」

